

経営比較分析表（令和3年度決算）

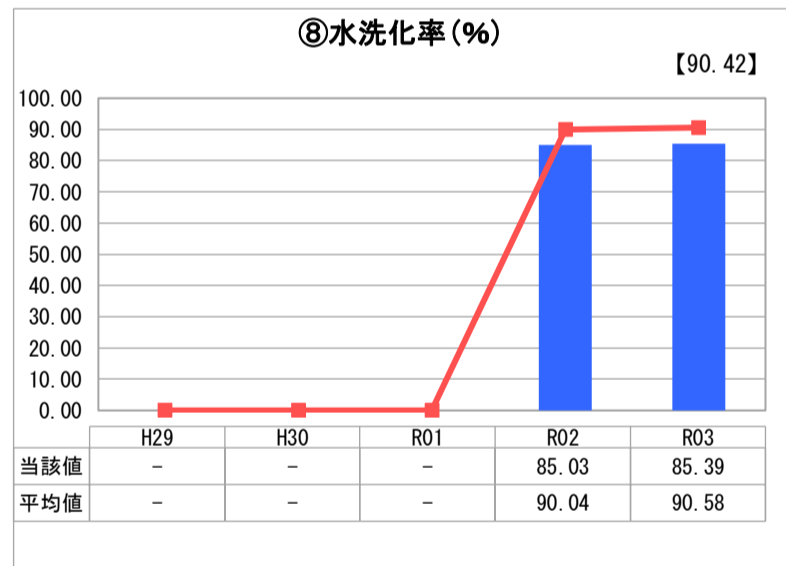
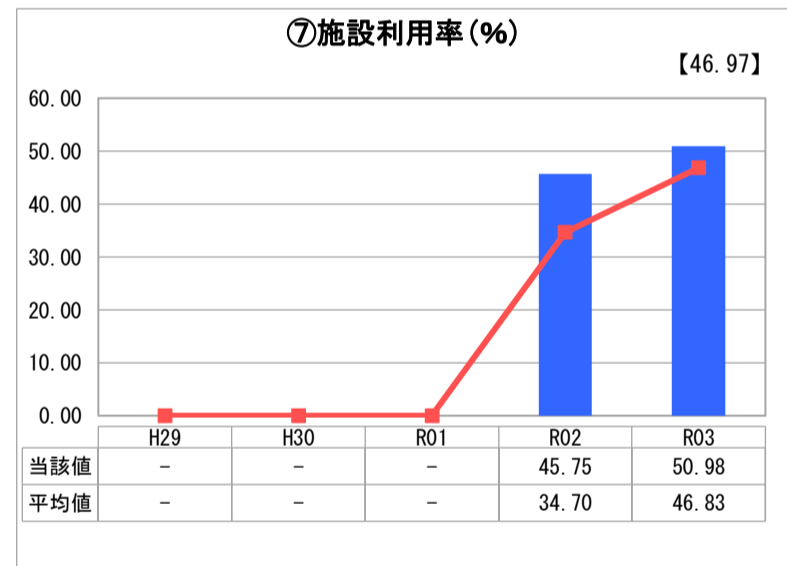
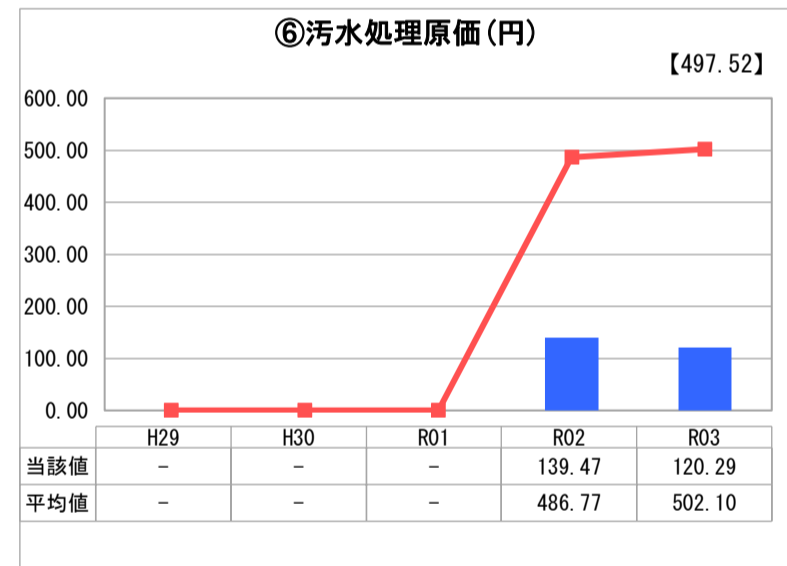
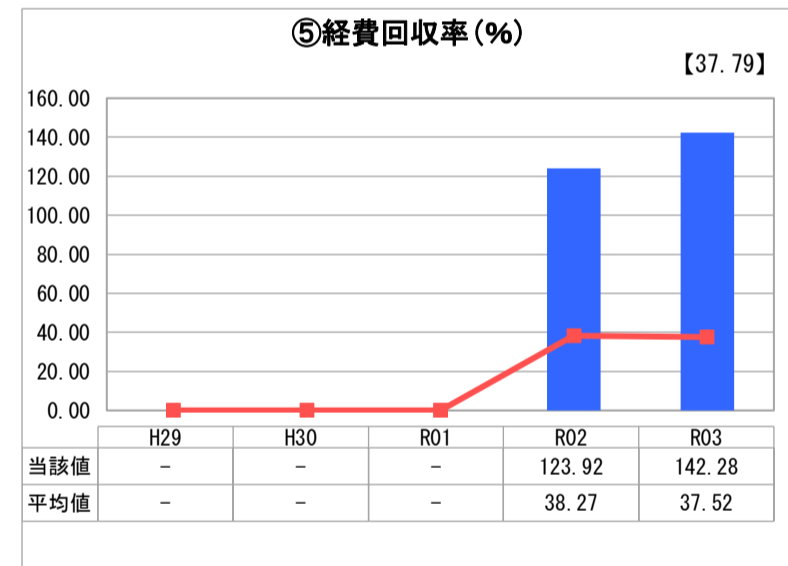
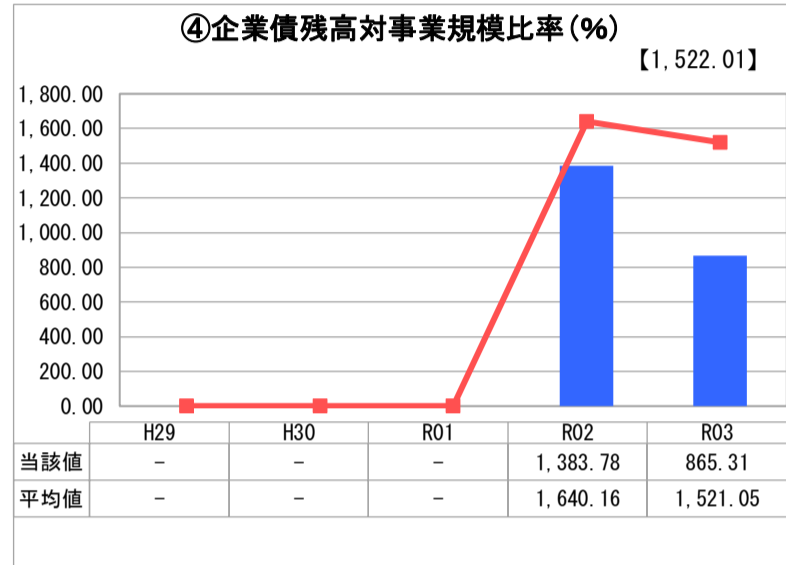
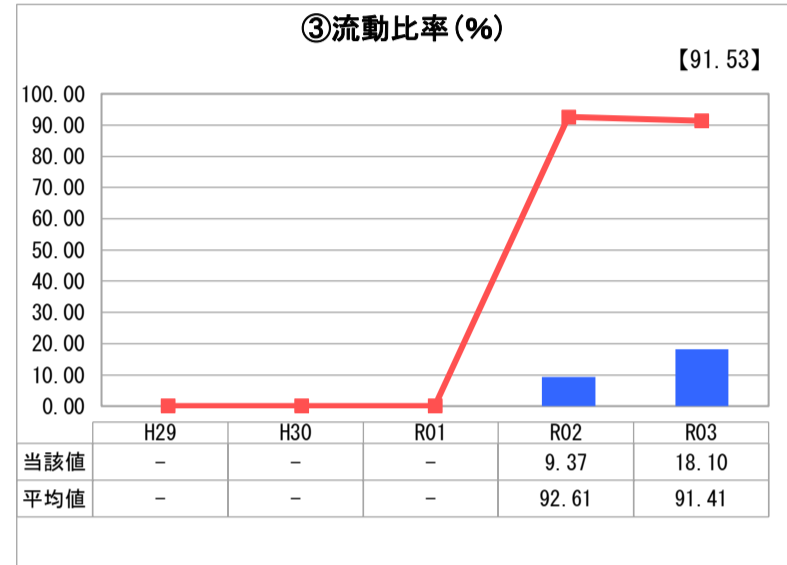
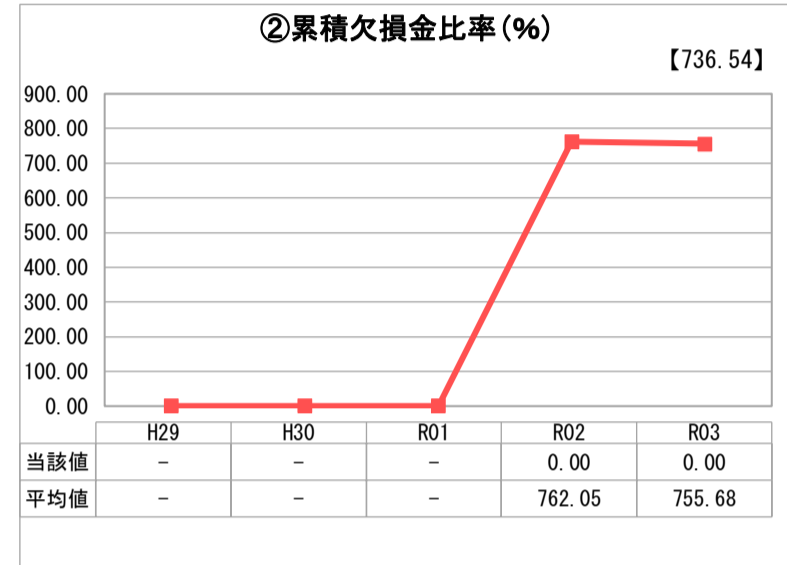
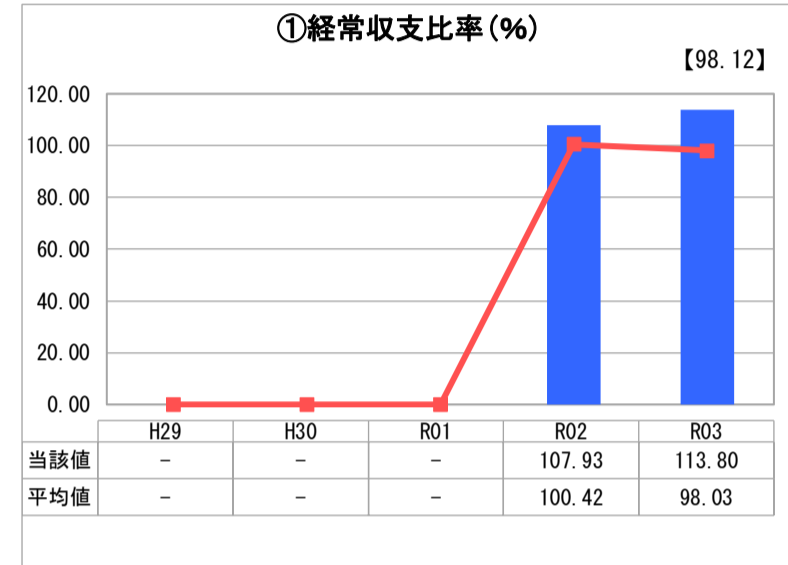
鳥取県 伯耆町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	小規模集合排水処理	I2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	69.73	2.92	100.00	3,960

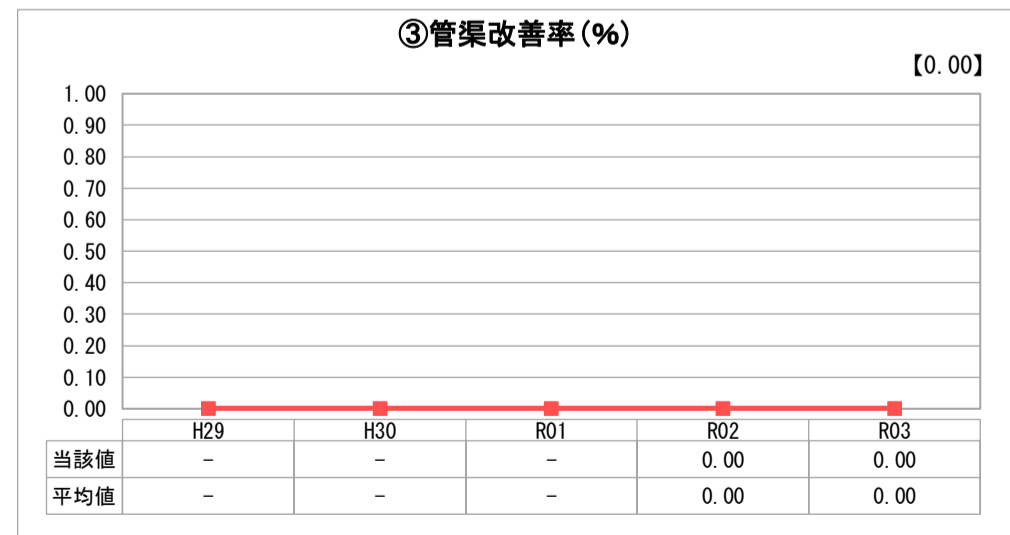
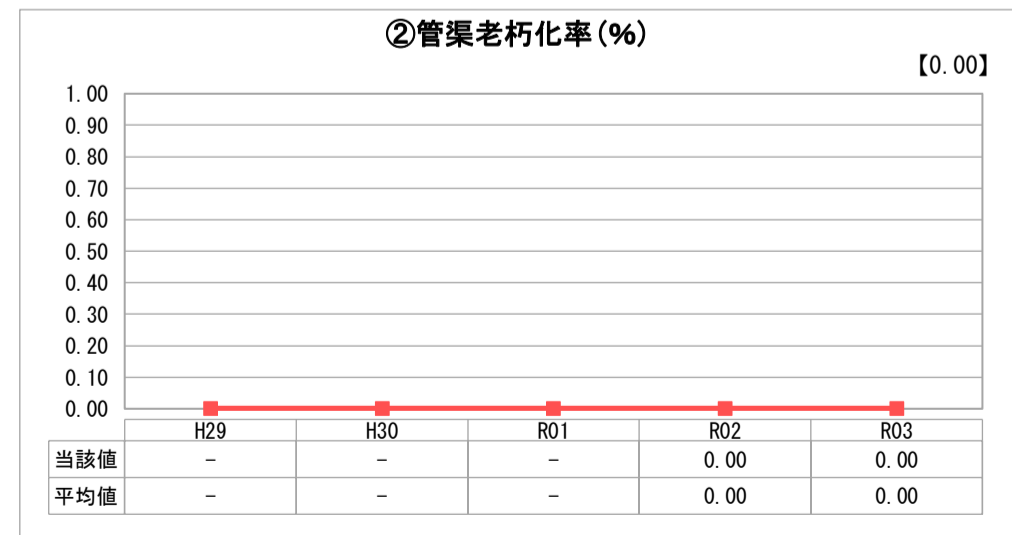
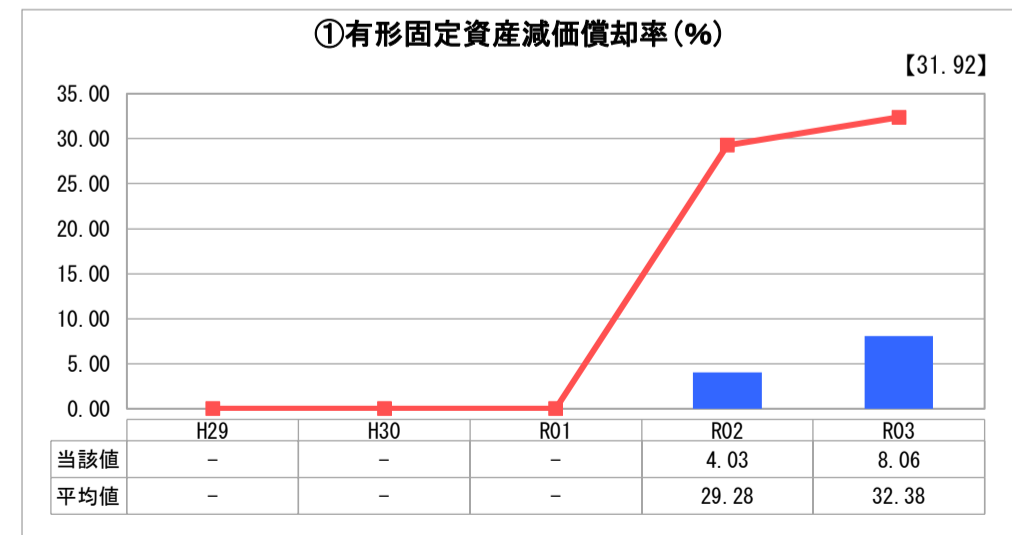
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,624	139.44	76.19
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
308	0.43	716.28

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
100%を上回っており、単年度の収支は健全性を保っている。

② 流動比率
流動負債の大半を占める企業債償還を、主に一般会計からの繰入金等により賄っていることによるもので、支払能力に問題が生じる見込みはない。

③ 流動比率
類似団体平均を下回っているが、企業債償還に係る一般会計の負担によるものである。

④ 企業債残高対事業規模比率
また、企業債残高が減少してきており、比率が改善傾向にある。

⑤ 経費回収率
100%を上回っている。今後も、適正な使用料収入の確保を図るとともに汚水処理費の削減を図る。

⑥ 汚水処理原価
類似団体平均より下回っているが、引き続き投資の効率化や維持管理費の削減などを行う必要がある。

⑦ 施設利用率
計画時からの人口減により、全国平均・類似団体平均と同様、施設の稼働に余裕がある状態である。

⑧ 水洗化率
今後も水洗化率向上に向けた啓発を行いたい。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
全国平均・類似団体平均を大きく下回っており、老朽化の度合いは比較的少ない。

② 管渠老朽化率、③ 管渠改善率
管渠については、現在まで不具合もなく、法定耐用年数に達するまで期間がある状態である。

計画的な更新については、経営戦略の見直し時期にあわせて検討を行うものとする。

全体総括

法適用事業2年目の決算数値となっている。引き続き健全な事業経営に取り組む。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。